

ますはら

「好意を寄せられた」

「神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。」

(使徒言行録 第2章47節・新約聖書213頁)

はじめに

先週、聖霊降臨とは主イエスが私たちと共にいてくださることが実現された出来事であり、主イエスと共に歩んだ弟子たちが体験したように、主からの恵みを受けながら、信仰生活を歩むことができるのだと申し上げました。

本日は主イエスと共に生きることで私たち自身に何が起きるのかを、次に記されている記述から見ていきたいと思えます。

神に愛され、人に愛される

私は子どもたちのために祈る時、必ず「神に愛され、人に愛されて成長するように」と祈ります。主イエスの成長する姿を伝えたルカの福音書2章52節の言葉、「神と人から愛された」からいただいたのですが、私たちがこの世の中で信仰者として生きるために大切なことではないかと思っています。

さまざまな食品が店頭並び、選ぶのに悩むことがあります。それはよりおいしいものと思うからです。テレビ番組の視聴率も高ければ残っていきます。もし信仰者が、毛嫌いされるような存在であれば、誰も教会に足を運ぶことはないですし、逆にこの世から排除されてしまうことになりかねません。

聖霊降臨後、一日に3千人が信じ、毎日押し寄せるように信じる人たちが与えられていったのですが、それは弟子たちが「民衆全体から好意を寄せられていた」からなのです。実は、この「好意」というギリシャ語が「神と人から『愛された』」と同じ言葉で、使徒言行録も書いて

いるルカは、主イエスの歩みと、私たちの歩みを重ね合わせようとして、この言葉を使ったのではないかと考えます。

カリス

この言葉、「カリス」は新約聖書に150ほど使われており、そのほとんどが「恵み」と訳されています。逆に「好意」と訳されたのはこの一カ所だけなのです。人の評価を受ける時に「愛された」「好意を寄せられた」としたのだと思います。では通常はどうか。「神の恵み」です。つまり、神の恵みに生きる時、人から好意を寄せられるような恵みが伴う、言葉を換えて言うなら、好意を寄せられるのも神の恵みの賜物であり、信仰者の証しなのだと言えるでしょう。好意を寄せられるために

なぜ弟子たちはそのようにされたのでしょうか。「一つになっていた」からです。つねにそこには神がもたらす平和がありました。「神殿」すなわち教会では一つに集まって礼拝を献げ、「家」すなわち日常生活では「受けるより与える方が幸いである」との姿勢を持って、誰をも受け入れ、分け隔てなく過ごしていました。そして「一つになって賛美していた」、この一つとは、「神の方を向いていた」との方向性を言っています。すべての者が一つの方向である神に向き合い、神の恵みを慕い、神の恵みに生きる時、好意を持たれる者にせられていくのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「信じた者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心一つにして神殿に集まり、家ではパンを裂き、喜びと真心をもって食事を共にし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。」(使徒言行録 2:44～47)

「イエスは神と人から恵みを受けて、知恵が増し、背丈も伸びていった。」(ルカによる福音書



2:57)

神さま、弟子たちは多くの人たちから憎しみを抱かれていたり、毛嫌いされていたのではなく、「好意を寄せられていた」人たちになりました。素晴らしいことだと思います。私もあの人はキリストを信じているから幸せそうなのだとか、いい人だね、一緒にいると温かい気持ちになるなど、言われるようになりたいと思います。そのためにも、教友たちと共に神さまからの恵みを受け取り、神さまの恵みの中を歩み続けていきたいと思います。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (108) 第5章11～12節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「後に、肉も骨も朽ちるとき あなたは呻き こう言うであろう。『どうして、私の心は論しを憎み 懲らしめを軽んじたのだろうか。』」

◎口語訳 「そしてあなたの終りが来て、あなたの身と、からだが減びるとき、泣き悲しんで、言うであろう、『わたしは教訓をいとい、心に戒めを軽んじ、』」

◎新改訳 「そして、あなたの終わりに、あなたの肉とからだが減びるとき、あなたは嘆くだろう。そのとき、あなたは言おう。『ああ、私は訓戒を憎み、私の心は叱責を侮った。』」

「後悔先に立たず」

事が終わってしまってからでは、どんなに後悔しても取り返しがつきません。「後悔先に立たず」です。中国の故事から出た「覆水盆に返らず」という言葉もあります。欧米では「こぼれたミルクのことを嘆いてもどうにもならない」というらしいです。アドバイスを拒んで失敗し、後悔した話はいくらでもあります。もちろん私も何度も経験しています。ただ、一生を左右することとなる場合、まさに取り返しが付かないことになるので、子を諭す父も念を押すように語ったはずです。

「肉も骨も朽ちるとき」とは、他の訳でわかるように自分の一生が尽きようとしている時です。

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

臨終に際し、なんとすることができているかが、自分の一生への自分がくださす評価だと思います。「ああ楽しい一生だった」「充実していた」と思えるか、「もっといい人生を送れたらうな」「なんでおれはこんな惨めな生き方をしてしまったんだろう」と嘆くか。そんな重大事が一瞬の判断で決まってしまう場合があります。先日も相模原の高校生たちが強盗殺人を犯しましたが、軽い気持ちで受けた仕事によって、これから償いと後悔の人生を過ごすことになってしまいました。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りすることはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第46編11節「『静まれ、私こそが神であると知れ。国々に崇められ、全地において崇められる。』」◆この詩編はヒゼキヤの時代、アッシリアの大軍にエルサレムが包囲された時の状況をよんだものではないかと考えられている。「降伏しろ。私たちはすでに多くの神々を粉砕してきたのだ。イスラエルの国の神も同様に、私たちの前に粉々になるぞ」とおどし叫んだその軍は、よく朝、あとかたもなく消えていた。イザヤはヒゼキヤ王に「神の前に静まれ。一切を神に委ねよ」と説いていた。そしてそのとおり耐えて、勝利をしたのである。

●賛美 / 179 ●祈禱課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第47編2節「すべての民よ、手を打ち鳴らせ。喜びの歌声で、神に歓呼の叫びを上げよ。」◆この詩は46編の続編だとされている。一晩で大軍がいなくなってしまったあと、神の民たちは一斉に歓喜の声をあげた。カー杯、その解放と勝利を喜んだ。それはそのはず。もう、国は滅亡寸前だったからだ。私たちは祈りが聞かれたあと、どのような態度を取っているだろうか。神がなされた出来事について、どのように受けとめているだろうか。神に感謝が足りない。神への賛美が足りない。神のわざであることを証していない。よく振り返ってみよう。

●賛美 / 180 ●祈禱課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第48編3節「シオンの山は高く美しく、全地の喜び。北の果ての、大いなる王の町。」◆この詩はエルサレムについてうたっている。なぜシオン、つまりエルサレムは麗しいのか。それは地形ではなく、大いなる王の都だからである。そこに臨在が示されていたからである。私たちはそこにいて、臨在を味わうべきか。もうそこには「契約の箱」も「都」もない。しかし、主イエスが私たちのうちを高く美しく、喜びのある宮としてお住まいになっておられる。主がわれらと共におられる。そのことを覚え、この賛美を献げようではないか。

●賛美 / 181 ●祈禱課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第49編8節「しかし、人は兄弟を贖うことができない。神に身代金を払うことはできない。」◆この時代には奴隷制度があったのだが、奴隷になった者は、だれかに買い取ってもらわなければ自由にはなれなかった。奴隷にはそのような力もなく、一度奴隷になったら、そこから脱することもできない。人間は罪の奴隷に落ちた。もはや自分の力では脱することができなかったのだが、その人間を買い取って自由にしてくださった方が現れた。主イエスである。「買い取る」を「贖う」という。贖い主をほめたたえよう。

●賛美／182 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第50編7節「聞け、私の民よ。私は語ろう。イスラエルよ、あなたに証ししよう。私こそ神、あなたの神。」◆神は私たちに「あなたの神である」とはっきり示してくださっている。その神に対し、私たちは何を持って答えるのか。ここでは、「いけにえ」と言われている。ただし、それは形ばかりのいけにえではない。神の前に悔いせずおれ、へりくだることである。換言するなら、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物となることである。それは礼拝において表される（ローマ12:1）。そこで、「あなたこそ、わたしの神です」と告白するなら、苦難の日にも救いがくる（15）。

●賛美／183 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第51編9節「ヒソプで私の罪を取り払ってください 私は清くなるでしょう。私を洗ってください 私は雪よりも白くなるでしょう。」◆ヒソプは重い皮膚病とされている規定の病気の人のきよめの儀式に用いられた植物である。祭司はこの儀式をもって、彼らの社会復帰を宣言した。主イエスのところにきた10人の重い皮膚病の人もいやされたのち、「祭司に見せなさい」と言われているのは、そのためである（ルカ17:11）。ダビデは自分の失敗の後、神からの赦しの宣言を求めてうめき祈ったのだ。私たちは主にすぎるほかに赦しはない。

●賛美／184 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第52編10節「私は神の家に生い茂るオリーブの木のように代々とこしえに神の慈しみに信頼します。」◆私たちの社会宣教活動の核となっている御言葉である。ヤコブは荒れ野において、神が共にいる神の家「ベテル」の経験をしたが、ダビデは神が共にいてくださることを、オリーブが勢いよく伸びるイメージをもって歌としたのだろう。オリーブは寿命が長く、「永遠」の意味を持たせてもいて、「根を絶やされる」との悪の末路とは対称的である。私たちは神の臨在を感じながら、神の家に住む者でありたい。

●賛美／185 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【しとげんこうろく 7:1～60】

「ステファノのじゅんきょう」

(ヨハネによるふくいんしょ 12:24)

イエスさまを しんじる、たくさんの でしたちが いました。そのなかで、おおくのひとたちに そんなけいさされていた ひとりが ステファノです。このひとは めぐみと ちからに みち、すばらしい あかしを していました。ステファノを やっつけようとしたひとも いたのですが、ちえと しんこうのれいに みちあふれた ステファノを うちまかすことは できませんでした。

そんなステファノが なんにも わるいことをしていないのに さいばんに かけられてしまいました。ステファノを ころろよく おもっていないひとたちが うそのはなしをして、さいしやりっぽうがくしゃに うったえたからでした。そんなことがあっても、ステファノは おちついていて、てんしのかおのように みえました。

だいさいしが ステファノに、「あなたは ほ

んとくに かみを けがしたのか」ときいてきたので、ステファノは そんなことは ありません」といって、きゅうやくせいしょのはなしを はじめました。

「かみさまは イスラエルみんぞくだけでなく、せかいじゅうのひとたちを あいし、すくってくださる おかたです。そのしょうこに、アブラハムが かみさまの こえをきいて やくそくのちを めざしたとき、がいこくの メソポタミアにいたときでは ありませんか。ヨセフが しゅくふくを あたえられたのは エジプトです。モーセも シナイざんで かみさまにかたられ、そして たいせつな じゅうの いましめを もらっています。それなのに、あなたがたは そむき、うらぎってきました。いまもそうです。ころろをとざして、イエスさまを すくいぬしとして しんじることができない。」

これをきいた さいしちょうたちは、ステファノに いしをなげ、ころしてしまいました。ステファノは かみさまのために しんだ、「じゅんきょうしゃ」となったのです。

●かんがえてみよう

☆ステファノは どのような ひとでしたか。(しとげんこうろく 6:8)

☆なぜ さいしちょうたちは ステファノのはなしをきいて おこったのですか。(しとげんこうろく 7:52～53)

☆ステファノ は さいごに なんといつて、いきをひきとりましたか。(しとげんこうろく 7:60)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

そとにひきおいだす

				に		り		
だ		き						
			そ	す	と			
そ	ず							
	と		ひ			り		
き	り		だ	ず		と	そ	に
	き	り	す		ひ	そ	に	
ひ	そ	と	に	り			す	だ
に		す		と	そ	き	ひ	り

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① おてのしんか
- ② そとのこやみ
- ③ かぎのみみ
- ④ はしりぎ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「山林火災」

冬の乾燥状態から抜け出せそうな時期になりましたが、これからは気候変化に伴い、自然との闘いが厳しくなりそうです。4月に発生した岩手県大槌町の森林火災は町の8%にあたる面積の森林が消失したとありました。東京ドーム350個分、東京千代田区全域がなくなってしまうほどの規模です。鎮火はしたものの、消失した森を復元するためにはあと何十年かかるかわかりません。

単なる景観だけの話ではないのが問題です。例

えば、保水力を失った山は、大雨が降ればすぐに土石流が起こります。パレスチナでは「ワジ(涸れ川)」といいます。普段は何もない場所に、雨が降ると川の流れが出現します。時々川になるので、土壌が硬くなく、愚かな人は底に家を建ててしまいましたが、そうすると、雨が降ったら土石流が発生し、家が流されてしまう。主イエスのたとえ話はわかりやすかったと思います。なぜそのような現象が起こるかという、山に木がないからです。木が生えておらず、降った雨がそのまま流れを作ってしまう、大槌町の人にはそれを心配しています。さらに、動物との緩衝地域がなくなったことで、遭遇する機会も増えてきます。川からのミネラル分が補給されずに海産物にも影響が出てくる。大変な被害です。

聖書ふれあい街歩き

●神の箱の行き先 1

モーセに与えられた石の板などを入れた神の箱(契約の箱)は、イスラエルにとって神の臨在を示す非常に大切な象徴物でした。三種の神器をご存知でしょうか。ヤタノカガミ(本体は伊勢神宮が所蔵)、クサナギノツルギ(本体は熱田神宮が所蔵)、ヤサカニノマガタマ(皇居に所蔵)、この三つを所持していることが天皇の証拠とされています。

サムエルの師匠、エリの時代は「神の言葉が語られるのはまれであった」とされるほど、信仰が低調でした。ペリシテとの戦いで不利になった民たちは、「これがあれば大丈夫だろう」と安易に考え、シロにあった契約の箱を戦場に担ぎ出します。三種の神器を持ち出して敵の前に掲げるようなものです。おろかにも、信仰もないのに、国の最高の宝である契約の箱を持ち出して勝とうとしたイスラエルでしたが、逆にペリシテは奮い立ち、完敗を喫してしまいます。それだけではなく、何と、契約の箱まで奪われてしまうのです。生肉が好きなエリの不肖の息子たちも戦死し、エリはその報にショックを受けて死んでしまいます。

ペリシテが神の箱をアシュドドにあるダゴンの神殿に運びいれました。

ななめ聖書 先週のこたえ

ざ	な	の	い	と	え	す	れ	ひ
え	れ	と	な	す	ひ	ざ	の	い
い	ひ	す	の	ざ	れ	と	な	え
す	と	え	ひ	れ	ざ	な	い	の
な	ざ	ひ	と	の	い	え	す	れ
の	い	れ	え	な	す	ひ	ざ	と
れ	え	な	ざ	ひ	の	い	と	す
と	の	い	す	え	な	れ	ひ	ざ
ひ	す	ざ	れ	い	と	の	え	な

- ①ふつうのひと
- ②ごせんにな
- ③じんもん
- ④しゅかん



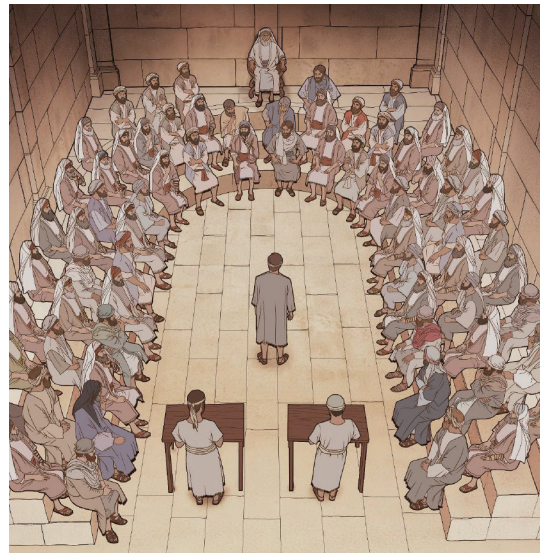
パウロの弁明

パウロは、議員の一部がサドカイ派、一部がファリサイ派であることを知って、議場でこう叫んだ。

「兄弟たち、私はファリサイ派であり、ファリサイ派の子です。死者が復活するという希望を抱いていることで、私は裁判にかけられているのです。」

パウロがこう言ったので、ファリサイ派とサドカイ派との間に論争が生じ、議会は分裂した。サドカイ派は復活も天使も霊もないと言い、ファリサイ派はこのいずれをも認めているからである。そこで、騒ぎは大きくなった。ファリサイ派の数人の律法学者が立ち上がって激しく論じ、「この人には何の悪い点も見いだせない。霊か天使かが彼に話しかけたのだろうか」と言った。

(使徒言行録23:6～9)



最高法院の様子

【復活論争】

70人に囲まれたパウロは、このままでは彼らのペースにはまってしまうと思ったが、「一部がサドカイ派、一部がファリサイ派であることを知って」、証言の冒頭で「復活する希望を抱いているから裁判にかけられている」と発言します。両陣営の立場をよく知っていたパウロならではの戦略と言えます。この発言によって、議会は混乱し、機能を果たせなくなり、何も決まらないまま議場を後にすることができました。

先にも触れましたが、この議会は、祭司出身者のサドカイ派、名家、貴族階級の長老、そして律法に精通しているファリサイ派で構成されていました。サドカイ派とファリサイ派はその立場の違いからたびたび衝突していました。保守派と改革派、今の日本の政党で言うなら自民党と中道連合のような関係です。

ユダヤ人社会は神殿中心、儀式中心に動いていました。神殿に仕える祭司たちが支えていたわけです。ところが中東の支配者が変わっていく中でユダヤ人民族は翻弄され、捕囚から帰還しても度重なる侵略を受け、アレクサンドロス大王(BC356～323)の支配下に置かれると、ギリシア文化の強い影響力によって、神殿礼拝ができなくなっていくきます。

ユダヤ人は、律法を守らなければ神の祝福は得られないと固く信じているわけですから、どうしたら律法に生きることができるのか、真剣に模索するようになっていきます。そして専門的に律法を調べ、民たちを指導する集団が生まれます。それが、罪と分離する(パラシュ)に由来したファリサイ派と呼ばれるようになっていきます。彼らは思

うように神殿での儀式ができない中で民たちに寄り添い、どのように異文化に対抗し、律法に生きることができるのかを教えました。

その活動を苦々しく思っていたのが祭司たちです。自分たちの立場がおろそかにされていると感じるようになっていき、「私たちはダビデに仕えた祭司ツアドクの子孫である」と、自分たちがユダヤ人社会を率いているのだと主張するようになります。ツアドクに属する人たち、すなわちサドカイ派と呼ばれるようになるわけです。

サドカイ派は旧態依然として「モーセ五書」のみを権威としていたのですが、ファリサイ派は「モーセ五書」だけではなく、口伝律法、すなわち、これまでの律法を守る中で培われてきた言葉にも権威を持たせました。「ラビ・アキバは『○○』と教えた」という類いの言葉です。その中で、「復活」、そして天使の存在や来世観についてもサドカイ派の主張とそりが合わなくなっていました。

福音書には両者が共同歩調をとっている場面もみられますが(マタイ16章)、マタイ22章ではサドカイ派の人たちが主イエスの質問に答えられなかったことを聞き、自分たちの味方ではないかと、ファリサイ派の人たちが主イエスに近づいてきた場面も見受けられます。

主イエスが復活をしたとの事実は、否定したくとも否定できない事実として知られていました。サドカイ派はそれでも復活を否定します。かたやファリサイ派は主イエスの復活を認めることになってしまう矛盾を知りながら、サドカイ派を駆逐するため、「復活」はあるのだとして論争が始まったのでした。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

